

# 小学校での活用事例 その1

## 就学時健康診断の機会を利用(羽生田小学校) (内科検診に保護者が付き添うタイプ)

グループごとに順番に呼ばれて受診。  
その間の待ち時間と保護者全員が揃ってからの  
30分間を使って実施

平成25年 10月30日(水)

会場：ランチルーム

対象者：47人

13:55～ 校長あいさつ

14:00～ 健康診断及び全体説明会(並行実施)

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ
健診		学校説明		
学校説明		グループワーク 「心配なことなあに？」		
グループワーク 「心配なことなあに？」		健診		健診
15:10～ 保護者全員が集合 「家庭教育講座」(30分間程度)		グループワーク続き		

## 健診の順番を待っている間に、 グループワークを実施

- 付せんに入学にあたって不安なことや心配なことを書き出す。
- 一人ずつ不安なことを言いながら付せんに貼っていく。(例えば、「今までバス登園だったから、一人で学校まで無事に歩いて行けるか心配。」など)
- 終わったところは、付せんに書いたことやその他子育てについて自由に話し合う。



校長先生のあいさつ  
子どもたちも静かに聞いていました。



健診の順番を待っている保護者の方に  
グループワークの説明をしました。



付せんに書き込んでいます。このころから  
保護者の表情が柔らかくなってきました。



どんなことを不安に思っているのかな？  
先生も気になるところです。



グループワークで、子育てについて  
話し合った後なので、みなさん、  
集中して講座を聞いていました。



最後に、保護者と学校が一緒になって  
子どもたちの育ちを支えていけるような関係を  
築いていくことが大事であることを伝えました。

## 健診の順番待ちの時間を有効に活用

羽生田小学校では、内科検診に保護者が付き添うことから、自分のグループが呼ばれるまで、待っている時間がありました。保護者全員がそろるのは、最初と最後だけでした。そこで、小刻みに空いた時間を有効に活用するために、グループごとの個別の待ち時間を利用してグループワークを実施しました。

保護者全員がそろってからの講座は、30分程度のまとまった時間を確保し、ポイントを絞ってお話しました。

いきなりの付せんを使ってのグループワークに対する保護者の方々の反応が心配されましたが、みなさん、難なく作業をしていました。

特に、付せんを書くことで、必ずすべての保護者が声を出すので、保護者同士の話しやすい雰囲気づくりができました。

次に入学説明会などで会ったときに、「あ、こんにちは」といえるつながりができました。

### 使った資料はこれ!

「ほめることの効果」

「話の聞き方で心をつなぐ」

「子育てで大事なことは、さじ加減」

学校の意向や地域性などを考慮して選びました。